

愛敬重之



後援会だより

2016年7月27日
第34期_後援会44号
発行責任者：愛敬重之後援会
会長 伊藤 久志

都市経済委員会委員長報告と「ホテルの里」完全復活

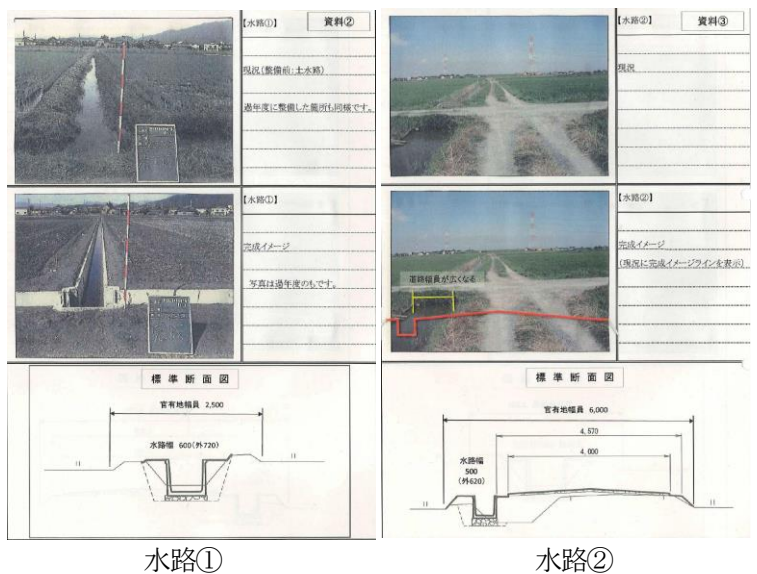
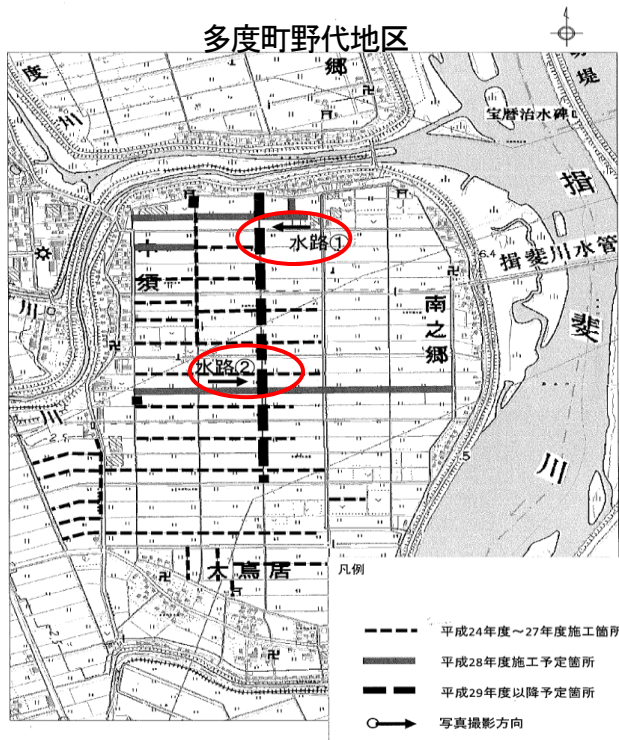
皆さんこんにちは。

日頃からあたたかいご支援をいただき感謝申し上げます。

7月4日に平成28年第2回市議会定例会が閉会しました。その後、「桑名市議会議員がネクタイ9本を万引きし現行犯逮捕」の報道がありました。この事に関しまして市民の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしたことを同じ議員として深くお詫びいたします。今後は信頼回復に向け今まで以上に議員活動を邁進させていただきます。

今回は、都市経済委員会委員長報告と、私が議員として約2年関わってきた播磨2号緑地「陽だまりの丘ホテルの里」の完全復活をご報告させていただきます。

農林水産業費：基盤整備促進事業の報告



基盤整備促進事業について、委員から「当初の計画と今後の見通しについて」質疑があり、「基盤整備事業については、農地の集積、汎用、省力化を進め、高生産農業が可能となる土地基盤の整備を目的としている。」

平成24年度から国の補助を受けて始まった事業で、主に用・排水路を整備するものである。多度町野代地区については、現在までに、排水路89%、用水路26%の整備が完了している。今年度終了予定であったが資材の高騰や湧水の処理などにより、来年度以降も工事が残ってしまうが、地元の支援や協力を得ながら事業を進めていきたい」と答弁された。他の委員からは、「まだ基盤整備をやっていかなければならないところもある。農地の集積などを進め、担い手の確保などの根本的な課題を考えた上で基盤整備に取り組んでいただきたい」・「お金を出すだけではなく、知恵を出していい方向にもって行ってほしい」との意見もありました。

播磨2号緑地「陽だまりの丘ホタルの里」復活報告

2014年に「ホタルの里は怎么样了」と質問を受けました。調査していくとメインポンプが2013年に故障したままで、井戸の調査や設置工事などで復活には3,000万円から4,000万円程かかるとのことでした。このことから、この事業について市としては、休止といわれましたが、あきらめることができませんでした。

復活までの第1ステップ

「ホタルとなかまの会」の皆さんと会合

そこで分かったことは、UR都市開発機構からこの環境を市が譲受した際、環境維持について約束を交わしていたことが分かりました。市に対しこの事業へ対応を図りましたが、休止との判断でした。2012年頃のホタルが飛び交う環境に戻すなんて私一人では絶対に無理だと思い悩み苦しみました。



2014年の現場視察

復活までの第2ステップ

井戸の復活

NPO法人環境再生職人ネットワーク、NPO法人桑竹会、元上下水道管理者にも声を掛け、会合に参加要請し、そのなかでさまざまなアイデアをいただきました。アイデアのなかに、この復活には欠かせない井戸調査の案件があり、上下水道部は危機管理の面から定期的に市の主要な井戸が枯れていないかの調査をしなければならないことです。この箇所も井戸も危機管理の面から調査が必要であること考え市に要請したところ、調査をしていただくことができました。播磨2号緑地



2015年3月：地下125mの水中
かろ写真

の井戸は地下300mまでありますが、今回地下125mまで水中カメラをいれてもらうことになりました。調査の結果、砂もなく井戸は枯れていませんでした。映像を確認し、私を含めた関係者はホッとしたのを記憶しています。環境整備ではNPO法人桑竹会の皆さんが所有する木材破砕機を使うなど短期間で整備することができました。

環境整備ではNPO法人桑竹会の皆さんが所有する木材破砕機を使うなど短期間で整備することができました。

復活までの第3ステップ

ボランティアによる環境整備

ランニングコスト削減では、ホタルの飼育小屋電力供給(案)について、NTN(株)の自然エネルギー商品事業部の方や中部電力の方にも参加を依頼し協議をかさねました。中部木造住宅協会様からは私たちの活動に協力していただけたということ



ボランティアによる清掃活動

ことで、ホタル里復活用の名目で97万円を市に寄附していただきました。飛翔に向けた活動を進めているなか、ジュニアサミットin三重の協議に

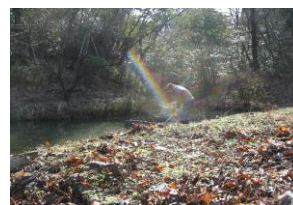


深井戸式メインポンプ設置

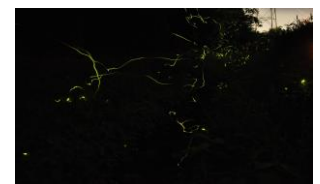
資する視察先に、ホタルの里近隣のNTN(株)先端技術研究所が決定し、周辺環境整備が進み、水路清掃ボランティアの参加も増え、深井戸式メインポンプを2月23日に設置することができました。そして、見事、3月9日

ホタルの里上池部分から、井戸の水が流れ出しました。

まさか今年、飛翔会ができるとは思いませんでした。皆さんのご支援、ご協力のおかげで達成できました。誠にありがとうございました。



清掃活動後のホタルの里



2016年6月：飛翔会成功

現在は、ホタル飼育小屋では10,000匹以上の幼虫が孵化しており、来年の飛翔会に向け早くも新しい活動がスタートしておりますので、引き続き環境整備等微力ながら頑張っていきます。

これから夏本番ですが熱中症等体調管理には十分ご注意ください。